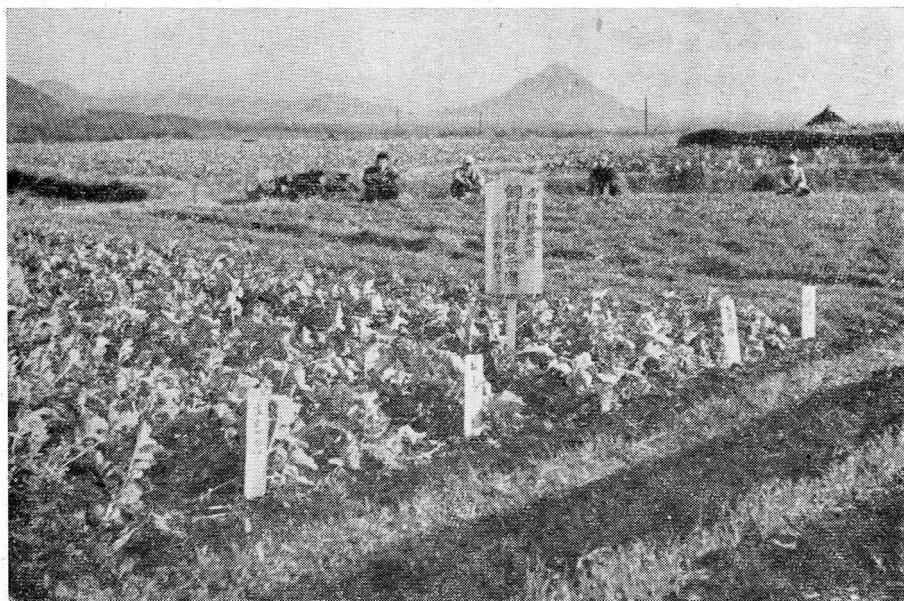


極暖地における秋・冬の飼料栽培

「鹿児島県枕崎地区農業改良普及所長道野時盛氏より大麥面白い資料（写真）が寄せられたので、ここに紹介いたします。」（編集部）



飼料作物展示圃（枕崎市別府茅野4HC茅野一二担当）

昭和36年1月15日写、遠くかすむは薩摩富士

飼料作物展示圃写真送付について

（前文略）昨春秋、特別の配慮により、秋まき飼料種子の配布を悉うし、地区内数カ所に展示栽培しましたところ、南国枕崎においては、七十数年振りの大雪にもかかわらず、写真のような生育を遂げ、青物の少ない時期にふんだんに緑餌を給与できますことは、担当者は勿論家畜も非常に喜んでおります。

当地区は都市を遠く離れて、これという産物もありませんが、ボンカン、紅茶の栽培と豚、乳牛の飼育の振興途上にありますので、今後共貴社との関係を密にし……云々

昭和三十六年二月十日

（後文略）

写真説明と栽培利用の概要

（写真左より）

- 家畜カブ 九月上旬播種：順次収穫給与、現在収穫末期。
- ライア 十月下旬播種：順次間引現在給与中。
- ルグバ 十月下旬播種：順次間引現在給与中。
- イタリア 九月上旬播種：現在一回刈。
- ライグラス 十月上旬播種：現在一回刈。
- 青刈ライ麦 十月上旬播種：現在一回刈。
- エン麦 九月上旬播種：現在二回刈取。
- ベツチ 播種
- その他
- レンゲ 十一月上旬播種：四月収穫予定。
- 家畜ビート 九月上旬播種：年内一部間引給与、雪害あり
- 馬鈴薯とルタバガ 馬鈴薯は九月一日植付十一月五日収穫。ルタバガはその跡地に十一月十日移植。

御存知ですか

○暖地の夏の青刈新人王テオシント
デントコーンより稍晩まきし、年に二〜三度葉の多い青刈の得られるテオシントは、暖地の夏枯対策にせむとも作りたい新作物です。

○暖地夏作のレギュラー ソルゴとスーダングラス
夏の暑さにまげず、三〜四度刈りができ、収量の多い、ソルゴ、スーダングラスについては今まで葉枯病が多いとか葉が少く、茎が硬化し易いとかもつと改良されれば素晴らしい作物だとも考えだつたでしょうが、これらの点を改良するためこの両作物の種間雑種が出来ました。各地で試作好評だつた、ソルゴ、ハイブリッドがこれです。

またスーダングラスのテフト、ハイパーは病気に強く、青酸含量の少ない多収な優良品種です。そしてこれら作物には大葉つるまめ、カウビーを混播しますと一層有利。

○青刈大豆の早とり品種

暖地で水田裏作のあとに青刈大豆を作り、そのあとを水田にする一年三毛作の地帯がありますが、出来るだけ短期間で青刈大豆を多収するためには生育の早い、雪印九号、同一〇号の早とり品種をお試し下さい。寒冷地でも断然増収、しかも葉の大きいことが特色です。

○春まきかぶ

改良紫丸かぶの利用を

春早くまいて低温に遭つても抽臺のし難い改良紫丸かぶは、その上極早生で根部の肥大が非常に早く、水田前作畑地夏作は前作に好適です。また根は厚肉に改良してありますから収量も他の紫かぶに較べて勝れています。